

主題：神のエコノミーと分与

メッセージ 5

神聖なロマンスの中で生きることによって神聖な分与を経験する

聖書：ローマ 5:5, 8:35, 39, 15:30, エペソ 3:14-19, 雅 1:2-3, 3:6, 4:7, 15, 6:4

- I. 聖書で、神聖な愛と神聖な分与の間には内在的な関係があります。わたしたちが主を愛するのは、愛としての神聖な三一の神聖な分与にしたがってです——ローマ 5:5, 8:35, 39, 15:30。
- II. 聖書は、最も純粋で最も聖なる意味で、宇宙的な夫婦のロマンスです。その夫婦は、花婿としてのキリストにある神と、花嫁としての神の贖われた人です——ヨハネ 3:29, マタイ 25:6, 啓 19:7, 21:2, 22:17 :
 - A. 何世紀にもわたって、神は人とのロマンスを持ってきました。彼は配偶者を持つという目的をもって人を創造しました—— 17 節。
 - B. 神は愛する方であり、人をご自身のかたちに、愛する者として創造しました。これが意味するのは、彼が人を創造して、人が彼を愛するようにしたということです——マルコ 12:30, エペソ 3:14-19。
 - C. 全聖書は神聖なロマンスであり、雅歌はこのロマンスの短縮した形です—— 1:2-3, 8:14 :
 1. 聖書はロマンティックな書であり、わたしたちと主との関係はますますロマンティックになるべきです—— 4:7。
 2. もしわたしたちと主イエスとの間にロマンスがないなら、わたしたちは宗教的なクリスチャンであって、ロマンティックなクリスチャンではありません—— 1:2-3。
 3. 全体として、聖書は神聖な求愛の言葉です。わたしたちは聖書で、神がわたしたちの愛を求めていることを見ます—— II コリント 11:2。
 - D. 神にある愛が彼に、わたしたちと結合し、ミングリングし、合併する切望を与え、わたしたちにある同じ愛がわたしたちに、彼と結合し、ミングリングし、合併する切望を与えます—— I ヨハネ 4:8, 16, 19。
 - E. わたしたちは神の求愛する言葉を守ろうとするなら、彼に応答する、愛情に満ちた愛を必要とします。このような応答する、愛情に満ちた愛は雅歌に記述されており、雅歌には愛する方と彼の愛する者との間の愛の描写があります—— 1:2-4, II コリント 5:14-15, ヨハネ 14:21, 23 :
 1. 雅歌の主題はすばらしい結婚における愛の物語であり、個人的な信者とキリストとの愛する交わりの進展する経験を啓示しています—— 1:2。
 2. 雅歌は、花婿としてのキリストと、彼の花嫁としての彼の愛する者との間の、結婚の愛の、詩の形式における、すばらしい生き生きとした絵です—— 2:4, 6:3, 7:11-12, 8:5-6, 14。
- III. わたしたちは雅歌において、神聖な分与の経験と神聖なロマンスにおける生活との関

係を見ます：

A. わたしたちは真に主を愛するなら、必ず命における成長と造り変えを持ちます—— II コリント 5:14-15. 3:18。

B. 雅歌における追い求める者はそんなにも彼女の愛する方を愛するので、神聖な分与を経験し、命における成長の継続的な変化が彼女の中にあります—— 1:9, 15. 2:2, 14. 3:6-7. 4:7, 12-15. 6:4, 10, 13：

1. 「彼の口の口づけをもって、わたしに口づけしてください！ あなたの愛はぶどう酒にまざるのです。あなたの塗り油はかぐわしい香りを放ち、あなたの名は注がれた香油のようです」—— 1:2-3。

2. 「王はわたしを彼の奥の間に連れて行かれた」—— 4 節後半。

3. 「王が食卓に着いておられた間、わたしのナルドはその香りを放ちました」—— 12 節。

4. 「没薬や乳香、貿易商人のあらゆるかぐわしい粉末の芳香を漂わせて、煙の柱のように荒野から上って来る者はだれか？」—— 3:6。

5. 「わが愛する者よ、あなたのすべては美しく、あなたには何の傷もない」—— 4:7。

6. 「園の源泉、生ける水の井戸、レバノンからの流れである」—— 15 節。

7. 「わが愛する者よ、あなたは美しいことテルザのよう、愛すべきことエルサレムのよう、恐ろしいこと旗印を持った軍隊のようである」—— 6:4。

8. 「帰れ、帰れ、シュラムの女よ」—— 13 節前半。

IV. 人が愛するものは何であれ、彼の心全体、彼の全存在でさえ、それに付けられ、それによって占有され所有されます—— I テモテ 6:10-11. II テモテ 3:2-4. 4:8, 10 前半。

テトス 1:8：

A. 「神を愛するとは、わたしたちの全存在——霊、魂、体を、心、魂、思い、力と共に（マルコ 12:30）——完全に彼の上に置くことです。これは、わたしたちの全存在を彼に占有していただき、わたしたちが彼の中で失われることです。その結果、彼がわたしたちのすべてとなられ、わたしたちは日常生活の中で、実際的に彼と一になります」（I コリント 2:9 のフットノート 3）。

B. 主イエスを愛するとは彼を評価し、わたしたちの存在を彼に向け、彼に開き、彼を享受し、彼を第一位とし、彼と一になり、彼を生き、彼となることです——マタイ 26:6-13. II コリント 3:16. マルコ 12:30. コロサイ 1:18. I コリント 6:17. ピリピ 1:20-21. 詩歌, 366 番, 2 節。

C. 「すべての事柄で主を第一位とすることは、初めの愛、最上の愛をもって彼を愛することです。彼を首位とするために、わたしたちは進んで調整され、砕かれ、無とされなければなりません。それは、主がわたしたちの中で、わたしたちを通して、わたしたちの間で道を得て、彼の有機的なからだを建造することができるためです」（バイタルグループの緊急の必要に関する交わり、メッセージ 12）。